

貝塚茂樹著

道徳教育の取扱説明書

——教科化の必要性を考える——



四六判／208頁

学術出版会

定価1890円（税込）

子どもたちの道徳性や規範意識の低下が叫ばれて久しい。大人たちが道徳教育の必要性を認識しながらも、戦前の教育勅語や修身科に対する負のイメージを形成し道徳の見識を教えることを消極的に捉えてきたからではないだろうか。

徳目を教えること＝悪ではない。むしろ、善き生き方の指針を次世代に継承することは教育の重要な使命である。道徳の時間が補習などの振り替え授業に使われているように、道徳を軽視する現状を変えるには「道徳の教科化」が必要であると筆者は強調する。どうしたら道徳教育に向き合うことができるのかという問いに答えてくれる。復活した『心のノート』にも触れているので一読したい。